

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表（記載例）

（ 年 月分）

サービス種類

（（介護予防）特定施設入居者生活介護）

勤務時間は、休憩時間を除いた実労働時間で記載します。残業時間は除いてください。

事業所番号（1423456789）

事業所名（ 神奈川県有料老人ホーム）

職種	勤務形態	資格	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	6月の合計	常勤換算後の人数		
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
管理者	B	ヘルパー2級	神奈川 ○○	8	8	8			8	8	8	8	休			8	8	8	8	8	勤務形態一覧表は、暦月（1日～末日）分で作成します。										176						
生活相談員	B	介護福祉士	横浜 ○○	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8	8	8	176	1			
				計																														176	1		
計画作成担当者	B	介護支援専門員	横須賀 ○○	8	8	8			8	8	8	8	8																							176	
				計																														176			
看護職員	B	看護師	川崎 ○○	4	4	4	4				4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	88			
	B	看護師	平塚 ○○			8	8	8	8	8	休	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8	休			176	1		
	D	准看護師	藤沢	有資格者の配置が必要な職種については、必ず資格名を記入してください。																														132			
				計																														380	2.2		
機能訓練指導員	B	看護師	川崎 ○○	4	4	4	4			4																									88		
				計																														88			

常勤職員は、他の職務を兼務していない場合、常勤換算は1となります。シフトの都合等で勤務時間が多くなっても、1を超えることはありません。

有資格者の配置が必要な職種については、必ず資格名を記入してください。

常勤職員の休暇等の期間については、暦月で1月を超えるものでない限り、常勤換算の計算上は勤務したものとみなすことができます。その場合、勤務時間欄には「休」と記入してください。
※ 非常勤職員の休暇等は常勤換算の計算に含めることはできません。

<記載上の注意事項>

勤務形態は A 常勤専従 B 常勤兼務 C 非常勤専従 D 非常勤兼務

夜勤職員については勤務時間数に○をつけてください。

記載方法は令和2年度指定介護保険事業者のための運営の手引き（特定施設入居者生活介護）8ページを参照してください。

計算はすべて小数点第2位以下を切り捨てです。

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数、勤務時間 日 (a) 週 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間 時間 (c)

6月の常勤職員が通常勤務すべき日数 日 (d)

常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合 当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数

常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算方法 (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 (c) × (d) 時間 (e)

常勤換算 常勤専従職員（予防サービスとの兼務は専従とみなす）の人数 + (非常勤職員等の勤務時間数合計 ÷ 常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e))